

# 静岡県議会議員

2024年 春号

## 鈴木ゆきこ 通信



県議会議員になって初めての予算審議が終わりました。  
市議の経験を生かし、比較をしながら臨みました。  
今後とも県に対する要望など、市町と連携をしっかりと  
活動していきます。 鈴木唯記子

### 静岡県議会 2月定例会 (2/20~3/18)

一般会計 1兆3,160億円  
特別会計11会計 8,898億1,800万円  
企業会計 5会計 805億9,400万円  
計 2兆2,864万円

新型コロナウイルス対策等、696億7,800万円を除いた実質ベースは前年度比153億7,800万円の増加です。以下、ゆきこ注目の新規事業です。

**新 聴覚障害児療育モデル構築**  
全国初の療育プログラム  
聴覚障害児の療育モデル事業費(新規)

- オーストラリアの療育手法を取り入れたパイロットモデル
  - ・R6 : 体制整備
  - ・R7~9 : モデル実施 (毎年10人ずつ拡大)
  - ・R10~ : 本格稼働

事業費 6,900万円

**新 児童・生徒サポート関連事業**

- フリースクール運営に対する支援
  - ・補助率1/2 (上限100万円)
- スクールカウンセラー (372人)
- スクールソーシャルワーカー (72人)

事業費 5億5,000万円

**新 紙おむつの再資源化**  
全国に先駆けた静岡モデルを構築  
廃棄物の再資源化モデル構築事業費(紙おむつの再資源化)(新規)

- 市町や事業者と協働して再資源化の先駆的実証実験
  - ・R6 : 2箇所
  - ・R7~ : 拡大
  - ・R12~ : 県人口の半分以上に拡大

事業費・職員 2,000万円、+1人

**新 バーチャルスクール開設**  
仮想空間に不登校のこどもの「学び場」を構築  
バーチャルスクール推進事業費(新規)

- メタバースを活用したオンラインの交流・体験・学び
  - ・R6 : 構築・試行
  - ・R7 : 本格稼働

事業費・職員 2,000万円、+2人

**新 スポーツ医学の活用**  
全国のモデルとなるスポーツ医学によるアスリート支援  
スポーツ医学機能推進事業費(新規)

- 自転車ハイパフォーマンスセンター(伊豆市)と連携
- プロチームの分析結果をジュニア競技力強化に展開

事業費・職員 1,000万円、+1人

**新 道路メンテナンスDX**  
自治体初の効率的な維持管理手法を確立  
インフラメンテナンスデジタル活用推進事業費(新規)

- 3次元点群データ等を活用したAIによる異常箇所検出、補修計画の立案
  - ・R6 : 下田市
  - ・R7~8 : 他地域に展開
  - ・R9~ : 全県展開

事業費・職員 1,500万円、+1人

### 浜名湖花博2024!

浜名湖花博が2004年に初めて開催されてから、今年で20周年。たくさんのイベントが行われ、ますますパワーアップしています。産業委員会では、みなさんが楽しめることはもちろん、利用しやすいよう分かりやすい表示や交通機関の整備等提言しました。多くの方にご来場いただきたいです。



↑ 浜名湖花博 ページ

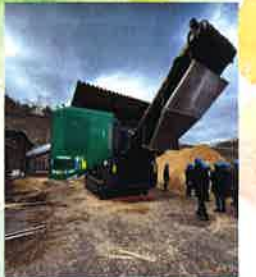
### 産業委員会

県議になって初めての常任委員会は産業委員会でした。市政と比較をしながら、質問・意見をしました。休憩中に、職員さんが写真を撮ってくれました。



### 林活議連

林活議連で、岡山県内の木質バイオマス集積基地・発電所等、複数箇所を視察しました。これまで全国で頓挫してしまうケースをみてきましたが、その理由や課題がよく分かりました。



### ラジオで県政報告!



FMハロー7 6,1MHz  
「KENGI DE Night! ~県議でナイト~」  
毎月第3月曜日19:30から20:00までの30分間担当をしています。  
パーソナリティは、大庭奈々さんです。  
みなさんに少しでも県政に関心を持っていただけるよう楽しい放送を心がけます!  
←この日は「聖地巡礼」を取り上げました。

### 鈴木ゆきこプロフィール



1975年生まれ  
遠州浜小学校・江南中学校・浜松市立高校卒業  
共生会歯科技工士専門学校卒業  
歯科技工士として民間企業に就職  
2015年 浜松市議会議員初当選(2期)  
2023年 静岡県議会議員初当選



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収へ

### 鈴木ゆきこ 政務活動事務所

〒430-0842  
浜松市中央区大柳町98

TEL & FAX : 053-482-9261  
✉ suzukiyukiko.1@zm.commufa.jp



## 重点政策提言・事業見直し

ふじのくに県民クラブでは、令和6年度に向けた予算編成を対象に会派要望書を提出。県内全ての市町とはいきませんでしたが、会派で分担し、市議会議員に課題と県への要望について聞き取りをしました。そして会派マニフェストの5つの柱である「命・環・豊・人・礎」のテーマにそった要望に加え、会派所属議員が集約した課題等も盛り込みました。

また、事業見直しでは1期生・2期生が中心となって検討する機会をいただき、政調会と共に議論を重ね会派として提言しました。

### 中長期見直し

- ▶プロジェクトの改廃
  - 終了時期の明確化
  - 総数の管理
- ▶公共施設のファシリティマネジメント
  - 資産の削減
  - 設備の老朽対策

### 短期見直し

- ▶施策の重点化・効率化
- ▶効果的な手法への転換
- ▶啓発事業の成果検証      など



その結果、当初予算への反映

重点見直し7本 → △1,852万円

その他17本 → △2億6,807万円

合計 2億8,659万円 削減

## 馬込川水門視察

建設中の馬込川水門の視察に行きました。市議の時代に委員会で議論していたため、ぜひ見たいと思っていました。例えば、鋼管杭(こうかんぐい)1200・800との違いがどのような影響がでるのか等、委員会室での当局からの説明だけでは、イメージが難しかったため、実際に見ることができてよく分かりました。

馬込川は県の管理になります。今後、水門完成後の周辺整備含めしっかり議論していきます。

10名以上で浜松市にお住まいの方に限られますが、現地見学ができます。馬込川水門インフォメーションセンター ☎053-458-7289 事前予約制(平日のみ) ぜひ行ってみたい ください!



## 公園の地下に神殿? 【鴨江雨水調整池見学】

かもえ児童遊園(通称:どんぶらっこ公園)の地下は、まるで神殿のような空間が広がっています。平成8年度完成、貯留量は25,000㎡です。貯めた雨水を少しずつ外へ出していくことによって、水路が溢れない仕組みになっています。約6年ぶりに、西小のみなさんと一緒に見学させていただきました。

コンクリートの劣化等、点検時に清掃した後の、天気の日でなければ、見学はできません。しかも今回は、特別に下へ降りるための階段を設置していただいたため、安全に上り下りできました。



## 静岡県の高校って どんなんなの? (意見交換会)

不登校、発達障がい、トランスジェンダーの団体のみなさんが連携して、県内すべての高校を対象にアンケート調査を実施しました。

調査結果の報告と意見交換会が浜松・沼津・焼津・磐田・富士の5会場で開催されました。議会質問の参考とするために4会場に参加しましたが、地域性を強く感じました。

障がいの有無ではなく、支援を必要としている生徒に対し、支援をしていく「インクルーシブ教育」を目指し、みなさんの意見を参考にしっかり提言していきます。



## 立川まんがぱーく視察

改修した旧市庁舎の活用と、駅南口エリアの活気を呼び戻すことを目的とした「立川市旧庁舎施設等活用事業」で選ばれた事業です。1階は子ども未来センター、まんがぱーくは2階にあります。図書館の本が全部「まんが」になっているこの施設。平日でもほぼ満席、休日は開館前に行列だそうです。

カフェでは100円からメニューがあり子ども達も買いやすい金額設定になっています。

放課後や休日の居場所としても多く利用されており、保護者からもありがたいといった声を多くもらっているとのこと。立地的に放課後児童会を設置できず、苦慮している市町もある中で、こうした居場所の作り方も一つではないかと感じた視察でした。



## インクルーシブ教育実施府県 (神奈川・大阪・福岡) 視察

インクルーシブとは「包み込む」という意味で、インクルーシブ教育とは、障がいの有無に関わらず、全ての子どもが共に学べる仕組みのことです。

### 1、神奈川県教育委員会視察

神奈川県では、20年も前から「特別支援教育」から「特別」という言葉を外し、「支援教育」に力を入れています。柔軟な対応をしていくために、義務教育課、特別支援教育課のどちらにも属さない「インクルーシブ課」を設置し、様々な取組みをしています。

### 2、大阪府教育庁視察

大阪府では、1970年代に「小中学校では一緒に勉強できていたのに、障がいがあるから普通高校へ通えないのはおかしい」と当時の中学生が署名活動を実施。2万筆以上の署名を集めたことから、「共に学び、共に育つ」という理念のもと、インクルーシブ教育が進められてきました。

### 3、福岡県教育センター視察

福岡県では、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある多様な学びの場の充実に力を入れています。また障がいのある子どもが将来の進路を主体的に選択できるよう、子どもの実態や進路希望等を的確に把握し早い段階から夢や希望、卒業後のイメージを持てるよう努めています。



0歳から18歳まで、真の切れ目のない教育のためには、市と県の密な連携が必要です。一緒に視察へ行くよう、市議にも声をかけ、鈴木めぐみ浜松市議と会派新人議員で視察をすることができました。これからも連携し、活動していきます。